

# コロナ禍における高校生の布マスクの好みについて — オープンキャンパスに参加した高校生を対象に —

白坂 文

## The Ideal Mask Designs During the COVID-19 Pandemic — The Research on High School Students Who Attended the Open Campus —

Aya SHIRASAKA

### Abstract

Wearing a mask is becoming a new daily routine for many people all over the world due to the ongoing COVID-19 pandemic. In the beginning of the pandemic, the demand for disposable masks, which are simple and white, rapidly increased. Today, however, people have started to enjoy masks with more colors and patterns as part of their outfit.

Considering the aforementioned trend, the author made 10 different masks and asked 100 high school students who attended an open campus event to fill out a questionnaire on mask design preference. The results revealed that the majority of respondents preferred simpler designs that suit various occasions. On the other hand, eccentric designs that are hard to find also turned out to be popular.

Keywords: COVID-19 新型コロナウイルス感染症, disposable mask 使い捨てマスク,  
cloth mask 布マスク, fashion ファッション,  
questionnaire research アンケート調査

### 1. はじめに

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ感染）は、アメリカでは2020年11月5日現在、コロナ感染者数が1日当たり12万人を超え過去最多となるなど<sup>(1)</sup> 収束がまだみえず、感染予防のため、マスクの着用は今や全世界で必要不可欠となっている。コロナ感染者が増加してきた当初は、特に欧米でのマスクの着用は文化的な側面から反感や嫌悪感を持たれており<sup>(2)</sup>、日本のマスク着用の意識との違いが浮き彫りとなった。すでに日本では花

粉症対策やインフルエンザの予防及び拡散防止の観点からマスクを着用する文化が根付いており、今回のコロナ感染拡大の予防においても、マスクの着用は任意にも関わらず定着している<sup>(3)</sup>。

日本においてもコロナ感染が確認されて以降は、使い捨てマスクの需要が急増し、一時的にマスク不足に陥った。この頃からミシンやガーゼ生地、マスク用の丸ゴムが売り切れる等、自身で布マスクを制作する人が急増し、巷ではちょっとしたハンドメイドブームが巻

き起こった<sup>(4)</sup> <sup>(5)</sup> <sup>(6)</sup>。

また、この時期よりマスクの生地を様々な色・柄・デザインで制作する気運が高まり始め、世界的なセレブと呼ばれる人々も自身の私服とカラフルでお洒落なマスクをコーディネートした着こなし画像をSNS等から発信しており<sup>(7)</sup> <sup>(8)</sup>、「マスク=白」という概念は薄れ、ファッションとしてマスクを楽しんで着けようという意識に変化してきたといえる。

マスクの着用はウイルスの吸い込みと拡散を両方減らす効果があると、東京大学医科学研究所等の研究グループの実験で明らかになったこともあり<sup>(9)</sup>、今後もマスクの着用はコロナ感染の予防として継続するとみられる。

本学においても、ファッションデザインコース1、2年生がプロジェクト演習Ⅰ（以下、プロジェクトⅠ）、プロジェクト演習Ⅱ（以下、プロジェクトⅡ）の中で布マスクをデザイン・制作した。これを用いて、本学のオープンキャンパスに参加した高校生に好みの布マスクを調査した結果を報告する。

## 2. 布マスクの制作とアンケート実施要領

### 2.1. 布マスクの制作

プロジェクトⅠ、Ⅱの授業の中で、「自身で着けたいと考える布マスク」について検討し、布マスクを各自3種類制作した。その後、それぞれ制作した布マスクについてプレゼンテーションを行い、布マスクについての印象を議論した。

学生たちが制作した布マスクの多くは、ブリーツ状に折りたたんだ形状のマスクと、マスクの中央部分にカーブの縫い目線が入った形状のマスクの2種類であった。マスクの内側と外側の間にフィルター等を挟み込むことが可能な二重仕様になっている飛沫防止に特化したタイプのマスクや、耳に掛けるゴムをリボンで代用して耳の後ろで結び、ポイント

とするデザイン性重視のマスク、またマスクの表生地にアップリケや刺繍、フリルを施した装飾的なマスク等、様々な工夫やデザインがみられた。それは、自身の私服とコーディネートできるような色・柄の生地を使用した、コロナ禍の中でも楽しんでマスクを着けようという学生たちの思いがコンセプトとされた布マスクであった。

以上のように、プロジェクトⅠ、Ⅱで制作した学生オリジナル布マスクの出来栄が非常に良かったことから、学生が制作したマスクの中から10点を選び、形状や生地の色・柄・デザイン等に更に工夫を加えた上で量産し、オープンキャンパスで来学する高校生にこの布マスクをプレゼントすることとした。

### 2.2. プレゼントする布マスクの詳細検討

先ず生地のデザインの検討では、たて軸に「カワイイ・カッコイイ」と対極のイメージを置いた。生地の色・柄・織りの部分で“ロマンティック”、“華やか”、“女性らしい”という評価が高いほどカワイイ位置にポジショニングし、“マニッシュ”、“モノトーン”、“クール”という評価が高いほどカッコイイ位置にポジショニングした。また、よこ軸には「シンプル・デコラティブ（装飾的）」と対極のイメージを置き、生地のイメージが重ならないように配置した（図1）。

オープンキャンパスに来学するのは女子高校生が大半のため、女子が着用することを想定し、「カワイイ」イメージの生地を多く（8点）採用したが、「カッコイイ」イメージが好きな女子もいるのではという学生たちの意見から、「カッコイイ」イメージの生地も2点採用した（\*図1の塗りつぶし部分参照）。

次にマスクのデザインの検討では、シンプルなデザインの方が着用範囲が広がるとの意見が多く、9点は装飾のないものとしたが、ゴスロリ<sup>(10)</sup>のようなデザインを好む女子高校生もおり、思い切ったデザインがあっても良いのではとの意見もあることから、大半の

マスクはシンプルなデザインであるが、1点は大膽なフリルの装飾を施したデザインを採用した（\*図1の長破線部分参照）。

この結果、ファッションデザインコースから発信する、着けると楽しい布マスク10点を以下に決定した（表1）。布マスクの制作枚数は1種類につき10点とし、計100枚制作することとした。

布マスクをプレゼントする期間に関しては、2020年8月2日、8月9日、8月30日の計3回のオープンキャンパスとし、“Happy Mask”と題した学生デザインの台紙を作成し、学生から高校生に向けた、手書きの一言メッセージを記入してラッピングし完成とした（写真1）。

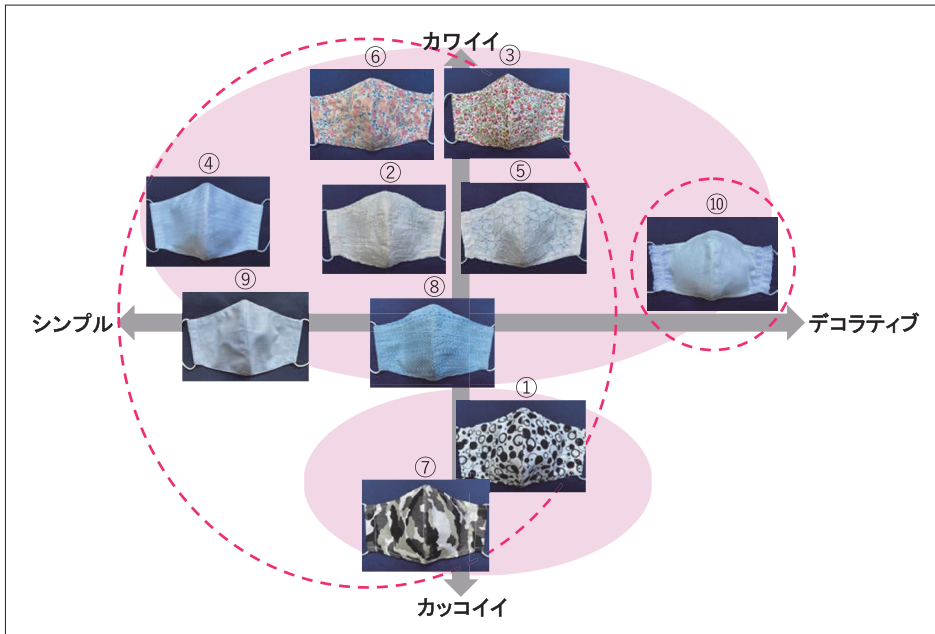


図1. マスクイメージのポジショニング

表1. 着けると楽しい布マスク10点のデザイン

①	②	③	④	⑤
モノトーン水玉	アイボリー刺繍	小花	ピンクボーダー	白縦レース
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
果物	迷彩	ブルー刺繍	ブルーボーダー	白無地フリル



写真 1. ラッピングした布マスク

### 2.3. アンケート内容

来学した高校生に、表 1 の 10 点の中から自分の好みのマスクを選択してもらい、1 枚をプレゼントした。その際に表 2 のアンケートの質問項目に回答してもらった。その他詳細は以下の通りである。

- ・対象人数：100 名
- ・氏名：記入不要
- ・高校名：記入不要
- ・性別：記入不要

表 2. アンケート項目

設問 1	普段はどんなマスクを着けていますか？（学校、休日）〈自由回答〉
設問 2	①～⑩のマスクの中で着けたいと思うマスクは何番ですか？〈選択〉
設問 3	このマスクを選んだ理由を教えてください〈自由回答〉
設問 4	①～⑩の他にどんなマスクがあったら着けたいと思いますか？〈自由回答〉

## 3. 結果と考察

### 3.1. 普段着用しているマスク(学校・休日)

学校で着用しているマスクの内訳は、使い捨て 31%、不織布 20%、布 9%、ピッタ 9%、布 (白) 8%、ピッタ (白) 5%、ピッタ (黒) 5%、使い捨て (白) 4%、使い捨ての立体 3%、サージカル 2%、不織布 (白) 2%、ピッタ (グレー) 1%、使い捨て (黒) 1%であった。不織布やピッタ、使い捨ての立体、サージカルは一般的に使い捨てマスクを意味していると解釈できるため、使い捨てマスクが合計 83%であった。同様に布、布 (白) との回答はどちらも

布マスクと解釈し、布マスクは合計 17%である (図 2)。

休日で着用しているマスクの内訳は、使い捨て 28%、不織布 17%、布 14%、ピッタ 9%、布 (白) 8%、ピッタ (黒) 6%、使い捨て (白) 5%、ピッタ (白) 5%、使い捨ての立体 3%、サージカル 2%、使い捨て (黒) 1%、不織布 (白) 1%、つけていない 1%という結果であったが、同様の解釈を行った結果、使い捨てマスク合計 77%、布マスク合計 22%という結果で、着けていないという意見も 1%あった (図 3)。有効回答率は 100%である。

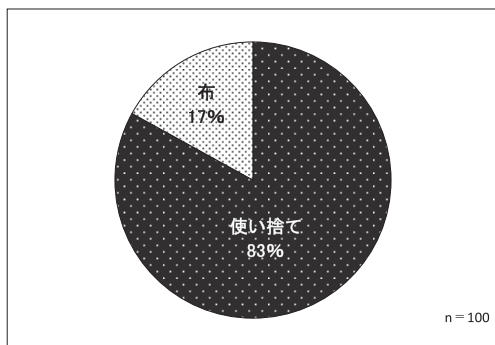


図 2. 普段着用しているマスク (学校)

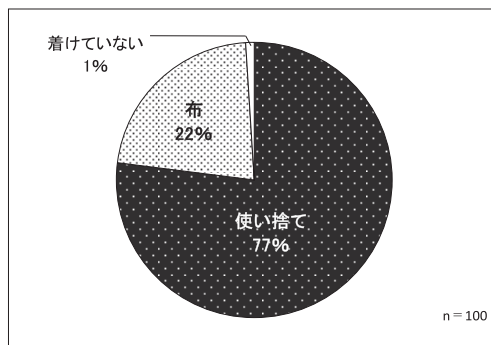


図 3. 普段着用しているマスク (休日)

### 3.2. ①～⑩の中で着けたいマスク

②アイボリー刺繍 13%、⑤白総レース 13%、⑧ブルー刺繍 12%、⑩白無地フリル 12%、⑨ブルーボーダー 11%、④ピンクボーダー 9%までは、生地が白ベースで、マスクの生地と同色の刺繍やレース生地のもが上位に選択されている。色・柄としては比較的シンプルで、どこに着けて行っても相応しいものが好まれている。一方で、マスク全面に柄がある、⑦迷彩 9%や①モノトーン水玉 8%、③小花 8%、⑥果実 5%が下位に選択される結果となったが(図4)、さほど大きな偏りとは考えにくい。

白生地ベースであるがマスク全面に刺繍やレースが施されていたり、大胆なフリル装飾されているマスクが人気がある結果となった。有効回答率は100%である。

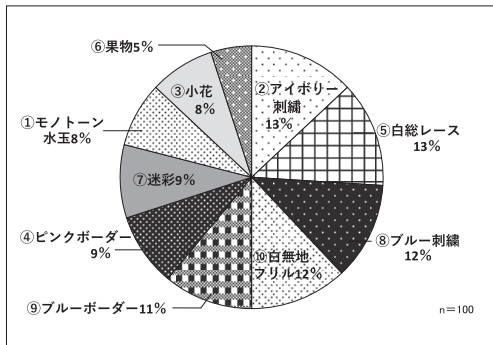


図4. ①～⑩の中で着けたいマスク

### 3.3. マスクを選んだ理由

回答の一部を抜粋すると、「フリルが可愛かったから」、「私服に合わせたら可愛いと思ったから」、「シンプルで着けやすそうだったから」、「刺繍が珍しくてこんなマスクは売ってないから」、「レース生地が可愛い」、「どこに着けて行っても浮かなさそうだから」等の意見がみられた。

「フリルが可愛かったから」や「刺繍が珍しくてこんなマスクは売ってないから」、「レース生地が可愛い」等は、色・柄・

デザインを重視した意見といえ、「私服に合わせたら可愛いと思ったから」、「シンプルで着けやすそうだったから」、「どこに着けて行っても浮かなさそうだから」等は、コーディネート重視した意見といえるため、この2種で分類したのが図5である。

色・柄・デザインを重視する意見としては84%、コーディネートを重視する意見としては16%であることが分かった。有効回答率は100%であった。

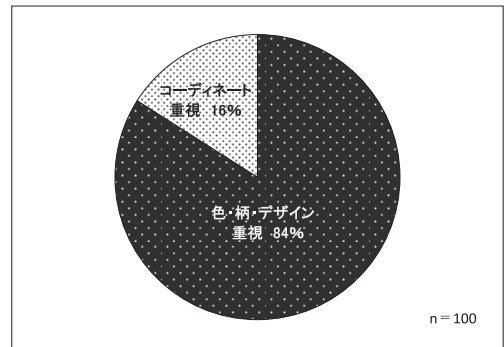


図5. マスクを選んだ理由

### 3.4. ①～⑩の他にどんなマスクを着けたか

回答者は100名であるが、ここは複数回答可としたため、総回答数は110となった。

回答の内訳は、冷感 29、ワンポイント 12、かわいいデザイン 9、通気性 8、レース生地 6、キャラクター柄 6、耳が痛くならない 5、今までにない柄 5、リバーシブルデザイン 5、コーデしやすい柄 4、爽やかな香り 3、UVカット 3、和柄 3、アニメ柄 2、アニマル柄 2、保湿効果 1、ジェル素材 1、チェック柄 1、カッコイイ柄 1、肌ざわり 1、透明素材 1、声がこもらない 1、小顔に見えるデザイン 1であった。

この中の「冷感」、「通気性」、「耳が痛くならない」、「爽やかな香り」、「UVカット」、「保湿効果」、「ジェル素材」、「肌ざわり」、「透明素材」、「声がこもらない」は機能面とみることができる(図6)。

一方、「ワンポイント」、「かわいいデザイン」、「レース生地」、「キャラクター柄」、「今までにない柄」、「リバーシブルデザイン」、「コーデしやすい柄」、「和柄」、「アニメ柄」、「アニマル柄」、「チェック柄」、「カッコイイ柄」、「小顔に見えるデザイン」はデザイン面とみることができ(図7)、高校生が着けたいと思うマスクは機能面とデザイン面に分類することができた。

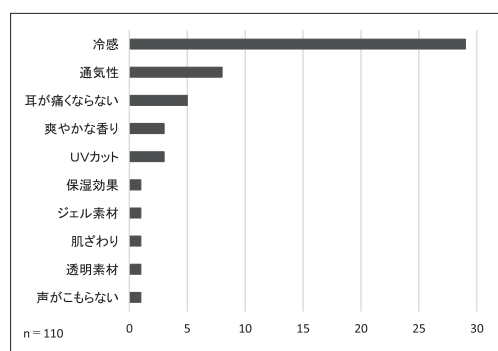


図6. どんなマスクを着けたいか(機能面)

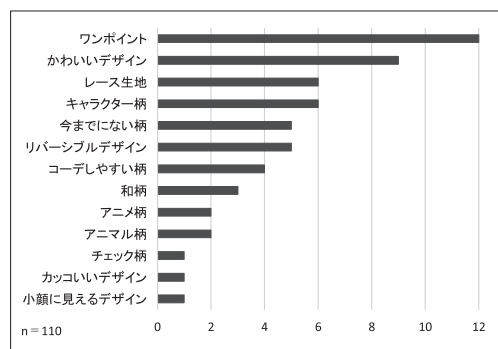


図7. どんなマスクを着けたいか(デザイン面)

#### 4. まとめ

今回の調査では、学生が制作した布マスクを高校生に向けてプレゼントしたこともあり、アンケートの高い回答率に繋がったといえる。

本学のオープンキャンパスに来学した高校生に実施したアンケートを分析した結果、学校でも休日でも多くの高校生が使い捨てマ

スクを着用しており、休日の方が布マスクを着用している割合が高いということが分かった。アンケートに回答してくれた高校生との雑談の中明らかになったことであるが、通学では公共交通機関等の利用により不特定多数の人と接触し、高校でも多くの人と接することから、1日着用したマスクは処分したいという考えから、使い捨てマスクを使用していると多くの高校生より聞かれた。それに対して休日は布マスクの使用が増えている。休日は家族や限られた人との接触のみで、使い捨てマスクを着用するまでもないと考えているのではないかと推測される。

ファッションデザインコースの学生がデザイン・制作した10種類のマスクの中から、高校生に1点選択してもらった結果は、大きな偏りはみられなかったものの、白生地ベースに刺繍やレース、フリル等の立体的なアクセントを施したものが多く選択された。このマスクを選択した理由についても、「刺繍やレースのマスクは売っていない」や、「こんなマスクはみたことがない」、「珍しい」という意見がみられ、色・柄・デザインを重視する意見が大半であった。

今回の10種類の布マスク以外にどんなマスクを着けたいかという質問に対しては、機能面の意見とデザイン面の意見が得られた。「冷感」や「通気性」、「UVカット」等の機能面の意見は、アンケートを実施した時期が8月の猛暑時期のオープンキャンパスであることが大きく影響したと考えられ、マスクを快適に着用するための機能面を希望している意見とみることができる。本学ファッションデザインコースの修学領域を鑑み、ここで得たデザイン面の意見を新たな布マスク提案に繋げていきたい。

#### 5. 今後の展開

今回得られた高校生へのデザイン面に特化した意見を受け、ファッションデザインコース

から発信する新たな布マスクの制作を進めることとする。引き続きプロジェクトⅠ、Ⅱの中で学生たちが新たな布マスクのイメージを以下のように決定した。

- ・レース生地や珍しい柄を使う
- ・冬用マスクを意識し、配色はモノトーンにする
- ・フリルのような思い切った装飾を使う

今後、このイメージを発展させ制作する布マスクを、本学キャリア創造学科で積極的に取り組んでいるパールズコレクションといった産学官連携のイベントの場やオンライン等で販売することを検討していきたい。

今回、プロジェクトⅠ、Ⅱで取り組んだ布マスク制作によって、高校生の布マスクの好みが明らかとなったが、当初学生たちが選ばれると予想したマスクではなく、意外な結果ととらえている学生もいる。なぜこのデザインのマスクが選ばれたのかという理由がアンケートの結果にも表れており、消費者の購買行動を探る良い経験となった。今後、学生のデザインした作品を販売する機会が得られた場合は、デザインの発想力も必要ではあるが、消費者の求めていることを調査・研究した上で、デザインの立案が必要であると理解できた。今後のデザイン活動においても有意義な効果があったと考える。

## 引用・参考文献

- (1) BUSINESS INSIDER  
<https://www.businessinsider.jp/post-223582>
- (2) 朝日新聞 DIGITAL  
<https://www.asahi.com/articles/ASN6L7WRLN67UHBI00J.html>
- (3) PRTIMES STORY  
<https://prt看mes.jp/story/detail/wrVDQZFVWB0>
- (4) 朝日新聞 DIGITAL  
<https://www.asahi.com/articles/>

ASN485JMSN48PLFA00F.html

- (5) 西日本新聞  
<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/584473/>
  - (6) 毎日新聞  
<https://mainichi.jp/articles/20200424/k00/00m/040/146000c>
  - (7) VOGUE JAPAN LINE NEWS  
<https://news.line.me/articles/oarp39638/7433591c8ad3>
  - (8) VOGUE JAPAN GIRL  
<https://voguegirl.jp/fashion/snap/20200324/celebrity-style-face-mask-2020/#!g/1/8/>
  - (9) NHK  
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201022/k10012674851000.html>
  - (10) 杉野芳子「増補新版 図解服飾用語辞典」学校法人杉野学園 ドレスメーカー学院 出版局 2003, p22
- \* (1) ~ (9) は 2020 年 11 月 8 日最終閲覧